

## 国内版 G E M 試算に用いた計算式

$$\frac{\text{①県議会議員EDEP指数} + \text{①'市区町村議会議員EDEP指数}}{2} + \frac{\frac{\text{②行政管理職EDEP指数} + \text{②'国調管理職EDEP指数}}{2} + \text{③国調専門・技術職EDEP指数}}{3} + \text{④所得EDEP指数}$$

試算で用いたそれぞれの指数の算出方法は次のとおりである。

- ① 県議会議員 EDEP 指数 (EDEP 指数は理想値を 50%として指数化したもの)

$$\frac{1}{\frac{\text{女性人口比率}}{\text{県議会議員女性比率}} + \frac{\text{男性人口比率}}{\text{県議会議員男性比率}}} \times 50\%$$

- ①'市区町村議会議員 EDEP 指数 (EDEP 指数は理想値を 50%として指数化したもの)

$$\frac{1}{\frac{\text{女性人口比率}}{\text{市区町村議会議員女性比率}} + \frac{\text{男性人口比率}}{\text{市区町村議会議員男性比率}}} \times 50\%$$

- ② 行政管理職 EDEP 指数 (EDEP 指数は理想値を 50%として指数化したもの)

$$\frac{1}{\frac{\text{女性人口比率}}{\text{行政管理職女性比率}} + \frac{\text{男性人口比率}}{\text{行政管理職男性比率}}} \times 50\%$$

- ②'国調管理職 EDEP 指数 (EDEP 指数は理想値を 50%として指数化したもの)

$$\frac{1}{\frac{\text{女性人口比率}}{\text{国調管理職女性比率}} + \frac{\text{男性人口比率}}{\text{国調管理職男性比率}}} \times 50\%$$

- ③ 国調専門・技術職 EDEP 指数 (EDEP 指数は理想値を 50%として指数化したもの)

$$\frac{1}{\frac{\text{女性人口比率}}{\text{専門・技術職女性比率}} + \frac{\text{男性人口比率}}{\text{専門・技術職男性比率}}} \times 50\%$$

- ④ 所得 EDEP 指数

$$\frac{1}{\frac{\text{女性人口比率}}{(a)\text{女性の所得指数}} + \frac{\text{男性人口比率}}{(b)\text{男性の所得指数}}}$$

(a) (b) の算出方法

$$\text{女性(男性)の所得指数} = \frac{\text{推定勤労所得}^{(\text{※注2})} - 100}{40,000 - 100^{(\text{※注1})}}$$

(※注 1) 100 は 1 人当たり GDP 最低値、40,000 は 1 人当たり GDP 最大値として UNDP が設定した値。今回は、1\$=82.14 円 (H23.3.7 為替レート) で換算して試算した。

$$(\text{※注 2}) \quad \text{女性の推定勤労所得} = \frac{\text{県内総生産額} \times \text{女性賃金比率}}{\text{女性人口}}$$

$$\text{男性の推定勤労所得} = \frac{\text{県内総生産額} \times (1 - \text{女性賃金比率})}{\text{男性人口}}$$

$$\text{女性賃金比率} = \frac{\text{男性賃金に対する女性賃金の割合} \times \text{女性の経済活動人口に占める割合}}{(\text{男性賃金に対する女性賃金の割合} \times \text{女性の経済活動人口に占める割合}) + \text{男性の経済活動人口に占める割合}}$$